

●基本情報

事業名(取組名)		コミュニティセンター管理事業			評価番号	5-1-2-1	
担当課		生涯学習課	係	社会教育係	☐ 予算なし		
基本計画	基本方針	【5】みんなが主役でともに進むまちづくり			予算科目	会計	【01】一般会計
	基本施策	【1】町民参加体制の充実				款	【0109】教育費
	施策	【2】交流活動の充実				項	【010904】社会教育費
	主な取組	①既存施設の有効的な活用				目	【01090409】コミュニティセンター費
						事業	コミュニティセンター管理事業

●計画 ～PLAN～

根拠法令等	☒ なし ☐ あり	名称			
新規・継続	☐ 新規 ☒ 継続	事業開始年度	年度	☒ 事業開始年度不明	
事業期間	☐ 期間限定あり（事業終了年度：令和 年度） ☒ 単年度繰返し ☐ 単年度のみ				
実施手法 (すべてチェック)	☒ 町が直接実施（直営） ☒ 委託（ ☐ 全部委託 ☒ 一部委託 ） ☐ 補助金等 ☐ 町民協働 ☐ 指定管理 ☐ 事務局 ☐ その他（ ）				
実施形態	☒ 町単独 ☐ 国・県補助事業 ☐ 国・県補助事業+町事業(上乗せ) ☐ その他（ ）				
事業概要	布川地区コミュニティセンターの維持管理をシルバー人材センターへ委託し、効率的な運営を図ります。				

●実施 ～D0～

事業業績	布川地区コミュニティセンター維持管理をシルバー人材センターへ委託し、生涯学習を通じた地域住民のコミュニティの活性化が図れるよう効率的な運営を行い、施設の設備等の保守・修繕等の維持管理を行うことができました。				
支出	主な歳出の節		令和元年度（実績）	令和2年度（実績）	令和3年度（実績）
	内訳	10 需用費	931,634 円	532,268 円	352,773 円
		12 委託料	6,346,160 円	7,540,940 円	6,818,900 円
		14 工事請負費	5,021,600 円	254,100 円	16,321,800 円
		17 備品購入費	円	367,400 円	円
			円	円	円
		円	円	円	
事業費 計		12,299,394 円	8,694,708 円	23,493,473 円	
財源	主な歳入の科目		令和元年度（実績）	令和2年度（実績）	令和3年度（実績）
	内訳	国支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		受益者負担金	円	円	円
		地方債	円	円	円
		その他	円	円	円
	一般財源	12,299,394 円	8,694,708 円	23,493,473 円	
事業費 計		12,299,394 円	8,694,708 円	23,493,473 円	

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	☒ 貢献している ☐ 見直す余地がある 理由 生涯学習を通じた地域住民のコミュニティ活動の場として、また、地域交流の拠点となるよう、施設の整備及び効率的な運営に努め貢献していると考えます。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	☒ 妥当である ☐ 見直す余地がある 理由 生涯学習を通じた地域住民のコミュニティ活動の場として、また、地域交流の拠点となるよう、民間事業者による維持管理を活用し、施設の整備及び効率的な運営に努めており妥当であると考えます。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	☒ 余地がない ☐ 見直す余地がある 理由 民間事業者による維持管理を活用し、施設の整備及び効率的な運営に努めており、現状の内容で充分であると考えます。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	☒ 可能性がある ☐ 可能性がない 理由 事業の内容や成果から、事業の廃止・休止は妥当ではないと考えます。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	☐ 可能性がある ☐ 可能性がない ☒ 類似事業はない 理由 類似の事業を行っていないため、統廃合・連携を図ることは出来かねます。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	☐ 余地がない ☒ 余地がある 理由 業務改善や契約方法の変更等を見直すことにより、成果を下げずにコストを削減することは不可能ではないと考えます。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	☒ 適正である ☐ 見直す余地がある ☐ 受益者負担を求める事業ではない 理由 利用団体等へ利用料金について受益者負担を求めており、適正であると考えます。

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続 (☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 拡大) ☐ 休止 ☐ 廃止（終了） ☐ 統廃合 ☐ 連携
	【理由】 生涯学習を通じた地域コミュニティの活性化を図り、地域交流の拠点となるよう、民間事業者による維持管理を積極的に活用し、施設の整備及び効率的な運営に努めており、今後も事業を継続していく必要があります。

●基本情報

事業名(取組名)		出会い創出事業			評価番号	5-1-2-2	
担当課		まち未来創造課	係	シティプロモーション係	☐ 予算なし		
基本計画	基本方針	【5】みんなが主役でともに進むまちづくり			会計	【01】一般会計	
	基本施策	【1】町民参加体制の充実			款	【0102】総務費	
	施策	【2】交流活動の充実			項	【010201】総務管理費	
	主な取組	②交流の場と機会の提供			目	【01020106】企画費	
					事業	出会い創出事業	

●計画 ～PLAN～

根拠法令等	☒ なし ☐ あり	名称				
新規・継続	☐ 新規 ☒ 継続	事業開始年度	平成	27	年度	☐ 事業開始年度不明
事業期間	☐ 期間限定あり（事業終了年度：令和 年度） ☒ 単年度繰り返し ☐ 単年度のみ					
実施手法 (すべてチェック)	☒ 町が直接実施（直営） ☐ 委託（ ☐ 全部委託 ☐ 一部委託） ☐ 補助金等 ☐ 町民協働 ☐ 指定管理 ☐ 事務局 ☐ その他（ ）					
実施形態	☒ 町単独 ☐ 国・県補助事業 ☐ 国・県補助事業+町事業(上乗せ) ☐ その他（ ）					
事業概要	独身男女の交流及び結婚意識の高揚を図るため、婚活パーティーなど、出会いの場を提供するイベントを実施します。					

●実施 ～D0～

事業業績	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止としましたが、県が実施する結婚支援策（出会いサポートセンター）の紹介をホームページ上で行いました。				
支出	主な歳出の節		令和元年度（実績）	令和2年度（実績）	令和3年度（実績）
	内訳	7 報償費	92,280 円	円	円
		13 使用料及び賃借料	60,000 円	円	円
		10 需用費	12,782 円	円	円
			円	円	円
			円	円	円
	事業費 計		165,062 円	0 円	0 円
財源	主な歳入の科目		令和元年度（実績）	令和2年度（実績）	令和3年度（実績）
	内訳	国支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		受益者負担金	円	円	円
		地方債	円	円	円
		その他	円	円	円
	一般財源		165,062 円	円	円
事業費 計		165,062 円	0 円	0 円	

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	☐ 貢献している ☒ 見直す余地がある 理由 令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため婚活パーティーは中止としましたが、マッチングアプリ等の普及によりパーティー形式での婚活支援は効果が期待できないため、今後は新たな手法について検討する必要があると考えます。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	☐ 妥当である ☒ 見直す余地がある 理由 町の状況に合った出会い創出事業を実施している団体があれば、実施主体の活用について検討する必要があると考えます。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	☐ 余地がない ☒ 見直す余地がある 理由 従来のパーティー形式に限定せず、県が実施している出会いサポートセンターの入会金補助を行い、周知活動を行っていく事で、成果を向上させる事ができると考えます。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	☐ 可能性がある ☒ 可能性がない 理由 独身男女の交流及び結婚意識の醸成、将来的な町内への移住・定住人口の増加を図ることから、事業の継続は必要であると考えます。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	☒ 可能性がある ☐ 可能性がない ☐ 類似事業はない 理由 従来のパーティー形式に限定せず、既存のイベントをきっかけとする独身男女の出会いの場の創出など新たな手法の検討も必要だと考えます。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	☐ 余地がない ☒ 余地がある 理由 従来のパーティー形式ではなく県が実施している出会いサポートセンターへの入会金補助の実施など、手法を変えることでコストを削減できると考えます。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	☒ 適正である ☐ 見直す余地がある ☐ 受益者負担を求める事業ではない 理由 開催する内容によって変動するため、計画した内容に合わせ、事業費を計上していきたいと考えます。

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続 （ ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☒ 改善 ☐ 拡大 ） ☐ 休止 ☐ 廃止（終了） ☐ 統廃合 ☐ 連携
	【理由】 婚活パーティーの開催については参加者の応募が少なかった事や新型コロナウイルス感染症の影響で中止が続いた事から、今後は県が実施している出会いサポートセンターへの入会金補助という形で晩婚化、未婚化の解消につなげていきたいと考えます。